

令和6年度 吉川市立北谷小学校 学校評価(保護者による評価)

4	高いレベルでできている。(8割以上の達成状況である。)
3	概ね基準に達している。(6割以上8割未満の達成状況である。)
2	基準には達していない。(2割以上6割未満の達成状況である。)
1	ほとんどできていない。(2割未満の達成状況である。)

令和6年12月19日
吉川市立北谷小学校
回答数 PTA本部役員10名

評価項目	No.	質問事項	4点評価	結果の振り返り・考察
R6重点(学校独自)	①	50周年記念式典の計画と学習成果発表会で探究型学習の成果を保護者・地域に向け発信し、子供たちの非認知能力(たくましく生きる力)を高める。	3.6	①については、比較的高い評価をいただきました。数値化できない非認知能力を「やりぬく」「おちつく」「つながる」の三つからなる「たくましく生きる力」として定義し、5月と学習成果発表会後の11月下旬にアセスメント項目をとりました。数値の向上が認められたため、保護者の皆様にも評価していただきました。 ②比較的良好な評価をいただいています。国語の学習で身に付けた学力を活かして、学習成果発表会を行い、保護者の方にご覧いただいたことが大きかったと考えます。 ③令和6年度から「不登校支援ケース会議」を実施して、個別のケースについて対策を協議し、全職員で共有していること、不登校児童の減少に取り組み、増加はしていないことをお伝えしました。そのことを評価していただいたと考えます。 ④比較的良好な評価をいただきました。特に、PTAの皆様は学校で子供たちがよく挨拶してくれる、と捉えてくださっています。
	②	国語の授業研究の推進による指導法の改善と、国語で習得した基礎・基本を他教科や生活科・総合に活用することで、国語の学力を高め、「生きてはたらく国語の力」を伸ばす。	3.2	
	③	不登校・いじめ等の生徒指導問題に組織的・継続的に対応し、解決につなげる。	3.1	
	④	2分前着席・無言清掃・元氣な挨拶や返事の励行等、学習規律や望ましい生活習慣を身に付ける。	3.2	
組織・運営(市内共通)	①	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3.2	①②⑤について、学校の取り組みをご説明した上で評価していただいたことで、一定のご理解をいただいたと考えます。 ③については、「不審者情報をいち早く共有し対応が素早いのでありがたい」というご意見をいただきました。今後も継続して説明してきます。 ④について、「トイレが汚れている」という指摘をいただきました。その後、学校でトイレ清掃を進めたので、そのことについて感謝するというご意見をいただきました。 ③④については数値が2点台と低くなっているため、次年度の課題といたします。
	②	教職員はPDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	3.2	
	③	学校は事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、適切に対応している。	2.6	
	④	学校は清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	2.8	
	⑤	学校は小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3.2	
保護者(市内・地域共通)の連携	⑥	教職員はPTA活動や学校応援団の活動に積極的に協力している。	3.5	⑥⑦⑧いずれも数値が最もよくなっています。北谷小フェルティバルなど、PTAの皆様と連携しながら子供たちが喜ぶ行事を推進したことが評価されました。「PTAと連携する学校の姿勢に感謝している」というご意見もいただいています。今後もPTAと連携しながら、様々な教育活動を充実させていきたいと考えます。
	⑦	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ、Home&Schoolアプリ等を活用し、積極的に情報提供している。	3.6	
	⑧	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3.6	
学力(市内共通)	⑨	児童は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	3.1	⑨⑩PTA役員の皆様为学校にいらしたとき子供たちの学習の様子をご覧いただいているため、比較的点数が高くなっています。 ⑪ICT活用については、学校ホームページ等で繰り返し発信してきたため、比較的点数が高くなっていると考えます。 ⑫比較的高い数値ですが、「学校で重点を置いている内容や課題を家庭に発信すれば、家庭学習に役立つ」という意見をいただきました。次年度の参考にいたします。
	⑩	教職員は学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童児童の実態に基づいた授業改善に努めている。	3.2	
	⑪	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	3.3	
	⑫	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたり、児童の学力を高めている。	3.2	
規律ある態度(市内共通)	⑬	児童は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	2.9	⑬⑭⑮⑯と、いずれも低めの点数となっております。寄せられたご意見の中に、「言葉づかいについては親も含め、注意しなくてはならない」と反省しているや、「ごく一部だと思うが、変なあだ名で呼ばれたり、陰口をいったりと、相手のことを考えることができないのかと思う」という内容がありました。 いじめについては、多くの保護者の方が心配されています。北谷小学校では、日頃より「心の健康観察 心音(クロームブックでの悩み事チェック)」や、「なかよしアンケート」等で子供たちの小さな声を拾い、悩みを教職員が聞き出すようにしています。そして、いじめと認められるケースが発生次第、いじめ対策委員会を組織し、組織的な対応を行っています。今後も学校がこのような対応をしていることを、広く保護者の皆様へ発信し、安心していただける体制づくりに努めたいと思います。
	⑭	児童は、生活のきまり・時間を守ることができる。	2.9	
	⑮	児童はいじめなどの行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	2.5	
	⑯	教職員は自ら手本となり、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	2.8	
(市内・健康・体力)	⑰	児童は、体力向上に向け、保健体育の授業や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	3.5	⑰多くの保護者の皆様に応援にきていただいた持久走記録会での児童の力走を評価していただきました。また、業前・昼休みの時間の外遊びも奨励しています。 ⑱市内でも給食の残しが最も少ない学校であることを評価していただきました。「給食が苦手な子は大丈夫か」とのお声もありましたが、子供たちには無理に食べさせるような指導は行っていないことを申し添えます。
	⑱	学校は、児童の健康管理および食育に関する意識を高めている。	3.2	
(生徒指導教育相談)	⑲	学校は、児童の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童に寄り添った対応をしている。	3.1	⑲⑳いずれも比較的高い評価をいただきました。「心音」や「なかよしアンケート」、日頃の行動観察等でいじめを見逃さない対応を行っています。情報を保護者の皆様と共有することによって、これらの問題に取り組んで参ります。
	⑳	学校はいじめや不登校をなくすため、生徒指導の充実を図っている。	3.0	